

飯豊山系 大境山（1102m）参加報告

豊栄山岳会 坂本 麻絵 記



大境山山頂

5月21日（日）、新潟県山岳協会、登山普及委員会主催の、大境山山行に参加させていただきました。

大境山は昨年個人山行で同じ時期に訪れており、コシアブラをたくさん採ったことと、残雪の飯豊の大展望が思い出に残っている山でした。また、今回の山行の数日前に飯豊本山に登頂したところだったので、行ったばかりの本山を見ることも楽しみの一つでした。

道の駅関川に集合し、乗り合わせて現地へ。総勢33名、4班に分かれての行動とのこと。私達3班は、最後尾は常にCLの玉木さん、先頭は順番に交替しながら歩くことになりました。

登山口からは、まずは私が3班の先頭で歩きました。今年は雪解けが早く、下の方はだいぶ緑が濃くなっていました。初めだけは緩やかな登りですが、すぐに急登が始まり、ゆっくり歩いているつもりでも汗が流れます。CLが「もっとゆっくりで良いよ！」と言ってくださり、できるだけゆっくり歩いたので、急登でもあまり疲れなかったように思います。途中休憩の時に自己紹介をし、先頭を交替しながらどんどん登りました。

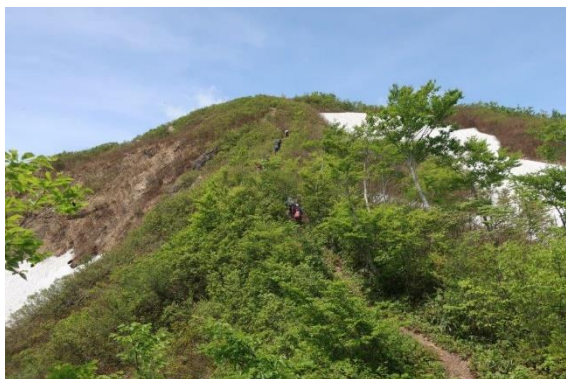
何度目かの「もう少し」を経て急登が落ち着くと、雪も出てきて、少し道がわかりにくくなりました。一箇所目印を見逃して、正規ルートと別のところを登ってしまいましたが、後続がルートを見なければいけなかったと反省。すぐに正規ルートに戻ったものの、かなり急で、すぐに崩れてしまいそうな状態でした。何とか枝に掴まって登りましたが、大小の浮石が沢山あり、慎重に歩いても落としてしまい、間隔をあげないと危険だと思いました。その

後も同じような急坂があり、下山が心配になりました。

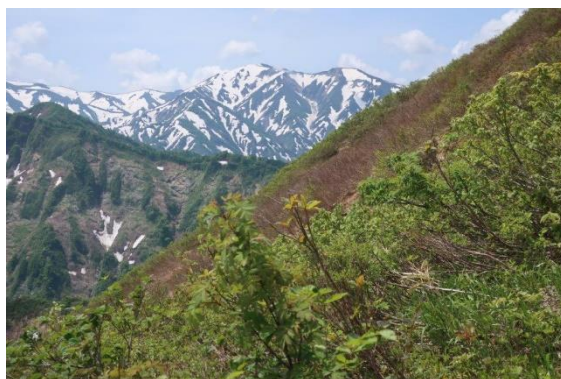
稜線に出て視界が開けると、残雪の残る飯豊連峰が見えました。普段見ている新潟側よりも、雪がたくさん残っていました。先日行った本山もよく見えます。杵差のあたりはハクサンイチゲが咲いている頃でしょうか。最後の登りは思いの外長く感じましたが、景色もよく、コシアブラを採りながら気持ちよく歩きました。

山頂で集合写真を撮り、全員が休憩するには狭いので、少し下ったところでゆっくりお昼休憩をとりました。下山では、登りで不安に感じていた急坂にロープを張ってくださっていて、安心して下ることができました。普段持つてはいるものの使う機会のないスリングも、実践で使い方を見ることができて大変勉強になりました。危険箇所を通過してからは、またコシアブラを採りながら、ゆっくり下山しました。

普段少人数での個人山行が多いのですが、団体で登る際の注意点や、持ち物等を考える良い機会となりました。また、なかなかお会いできない先輩方のお話を聞くことができ、大変楽しい山行でした。



大境山最後の登り



杵差岳展望